

# 竹とんぼ

1 所要時間 2.5～3時間

2 服装 活動しやすい服装

## 3 準備物

- ・ 利用者 軍手、新聞紙、筆記用具、上ぐつ、竹串15cm（太口）
- ・ 施設側 (1) ・ 切り出しナイフ120 ※左利き用切り出しナイフも貸出可能
  - ・ 用具（12セット）

品名	数量	品名	数量
工作台	4	木づち	4
なた	4	四つ目ぎり	4

- (2) 材料 ・ 施設側で準備する場合

竹	羽根：長さ 約10cm
---	-------------

※ 利用者側で竹材を準備する場合は、所定の長さに切っておく。

4 活動場所 野外活動棟ホール、大研修室

## 5 活動の流れ

時間	活動内容
0～20	・センター職員による全体説明
20～30	・必要な材料、用具の受け取り ・数量の確認
30～50	・なたと作業台、木づちを使って竹を割る。
50～110	・切り出しナイフで羽を作る。
110～130	・羽根の調整、仕上げ
130～150	・用具の数を確認し返却、片付け、そうじ ・職員の点検

## 6 活動指導資料

時間	生徒の動き	指導者の支援	職員の支援
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の誘導</li> <li>事前説明</li> </ul>	
0	集合・説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の運営</li> <li>補足説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸注意</li> <li>※活動の説明</li> </ul>
20～	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な材料用具の受け取り</li> <li>数量の確認</li> <li>制作場所に新聞を敷く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具係の選出</li> <li>材料・用具の確認</li> <li>制作場所の指示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料・用具の受け渡し</li> </ul>
30～ 50～ 110～	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹を割る</li> <li>羽根作り</li> <li>調整・仕上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作運営</li> <li>活動終了時間の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作補助</li> <li>バランス調整</li> <li>片付けの説明</li> </ul>
130～150	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具返却、片付け</li> <li>そうじ</li> <li>職員の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>返却用具の第1次点検</li> <li>清掃指導</li> <li>保管方法の指示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>返却用具の第2次点検</li> <li>受け取り</li> </ul>

◎ センター職員は利用団体への用具の貸し出し、返却時の第2次点検を主として行う。(第1次点検は利用団体で行う。)

※ 利用団体の要望に応じて、施設職員から大まかな作業工程について説明をすることができる。

## 7 作り方

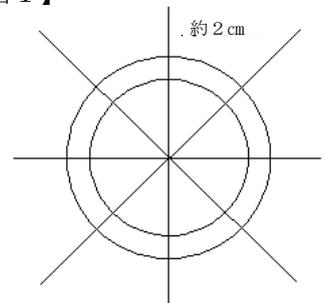
### 羽根づくり

- (1) 新聞紙の上に工作台を置く。工作台の上に竹筒をのせ、その上になたを置き、木づちでたたいて半分に割る。  
羽根用の竹筒(長さ約10cm)を約2.5～3cmずつ割っていく。  
※ 竹筒1本で8～12枚とれる【写真1、図1】

【写真1】

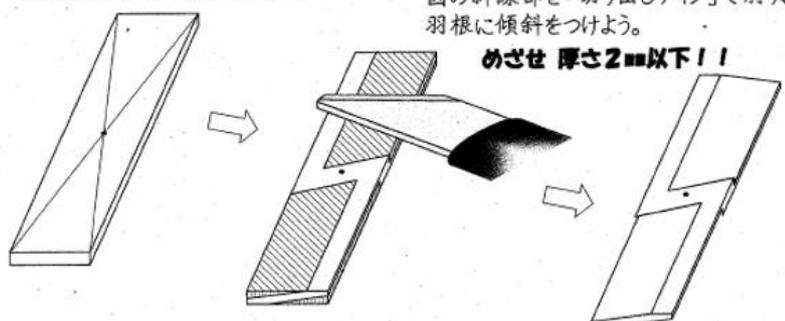


【図1】



- (2) ものさしを使って中心をとり、きりで穴をあける。  
※ きりで穴をあける場合は、垂直になるように注意する。
- (3) 右利きの方は羽根が右下がりになるように、左利きの方は羽根が左下がりになるように、斜めに薄く削る。【図2】

【図2】 「ものさし」と「えんぴつ」で対角線を引き中心を決め、「きり」で穴を開けよう。



### 注意!

図の削り方は、右利き用です。左利きの方は削り方が逆になります。

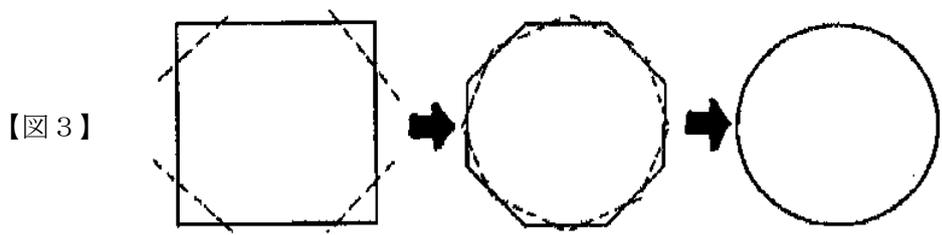
- (4) ナイフを固定し、竹材を手前に引いて削る。
- (5) 裏返して、同じように薄く削る。 ※ 厚さは2mm以下

**【竹を削るときの注意】**

- (1) ももの上にナイフを固定し、竹を引いて削るのが基本である。  
※ ナイフを動かすと、けがをしやすいため注意すること。
- (2) ナイフは**素手**で持ち、竹を持つ方の手は必ず**軍手**を着用する。

**軸づくり**

- (1) 羽根づくりと同様に、なたと木づちを使って、竹筒を竹の肉厚と同じになるように割る。
- (2) **【図3】**のように角を繰り返し削りながら円柱にする。



- (3) 全体のバランスを考えながら、自分の使いやすい太さにする。

**仕上げ**

削った羽根に軸を付けた後、軸の部分の指に乗せて、バランスがとれているかどうか確認し、調整する。

- (1) 羽根の左右のバランス  
左右のバランスがとれていないと、重い方の羽根が下になる。重い方の羽根を削って、水平になるようにする。
- (2) 羽根と軸のバランス  
羽根と軸のバランスがとれていないと、羽根か軸の重い方が下になる。下になった方を削って、水平になるようにする。
- (3) 飛ばし方

<b>【うまく飛ばない原因として】</b>	<b>【対策】</b>
・竹とんぼが全体的に重い。	→ 全体的に削る。
・左右の羽根のバランスが悪い。(長さ、厚さ)	→ 左右の羽をそろえる。
・羽根と軸のバランスが悪い。	→ 重い方を削る。
・飛ばし方が悪い。	→ 上手な人のまねをする。

※ 飛ばす時は、周囲の安全を確認してから行う。